

『 毒物劇物取扱者試験 2019年版 東日本編 』お詫びと訂正のお知らせ

弊社出版物「毒物劇物取扱者試験 2019年版 東日本編」をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。
 本書の内容に誤りがございました。この度はご迷惑をおかけ致しまして誠に申し訳ございません。訂正してお詫び申し上げます。

頁数等	内 容	
123 ページ 3 原子の構造 ● 原子 [原子の構造]	誤	電子核中の陽子の数は、原子の種類ごとに定まっており、陽子の数を、その原子の原子番号という。
	正	原子核中の陽子の数は、原子の種類ごとに定まっており、陽子の数を、その原子の原子番号という。
222 ページ 21 反応熱と熱化学方程式 ● ヘスの法則	誤	(1)式から(2)式を引いて、CO ₂ (気)を消去する。 $C(\text{黒鉛}) - CO(\text{気}) + \frac{1}{2}O_2(\text{気}) = 111\text{kJ}$ CO(気)を移項して整理する。 $C(\text{黒鉛}) + \frac{1}{2}O_2(\text{気}) = CO_2(\text{気}) + 111\text{kJ}$ ①の反応熱は、111kJ/molとなる。
	正	(1)式から(2)式を引いて、CO ₂ (気)を消去する。 $C(\text{黒鉛}) - CO(\text{気}) + \frac{1}{2}O_2(\text{気}) = 111\text{kJ}$ CO(気)を移項して整理する。 $C(\text{黒鉛}) + \frac{1}{2}O_2(\text{気}) = CO(\text{気}) + 111\text{kJ}$ ①の反応熱は、111kJ/molとなる。
226 ページ 20 金属元素 ● 金属イオンの分離と確認 [塩化物イオンとの反応]	誤	一般に金属の塩化物は水に溶けやすい。しかし、Ag ⁺ とクロム鉛(Ⅱ)イオンPb ²⁺ を含む水溶液に希塩酸を加えると、白色の沈殿を生じる。
	正	一般に金属の塩化物は水に溶けやすい。しかし、Ag ⁺ と鉛(Ⅱ)イオンPb ²⁺ を含む水溶液に希塩酸を加えると、白色の沈殿を生じる。
261 ページ あ行の毒物・劇物 ▶塩化第二金	誤	▶塩化第二金 AgCl ₃ [劇物]
	正	▶塩化第二金 AuCl ₃ [劇物]
277 ページ は行の毒物・劇物 ▶ブロムアセトン	誤	▶ブロムアセトン CH ₃ COCH ₂ Br [毒物]
	正	▶ブロムアセトン CH ₃ COCH ₂ Br [劇物]
284 ページ キーワードによる暗記一覧 ▶色 ◎その他	誤	塩化第二金 AgCl ₃
	正	塩化第二金 AuCl ₃

頁数等	内 容	
286 ページ キーワードによる暗記一覧 ▶分解 ◎塩素を含む化合物	誤	クロムスルホン酸 ClSO_3H
	正	クロルスルホン酸 ClSO_3H
377 ページ ▶中和法 [酸性の毒物劇物はアルカリで中和処理する]	誤	◎徐々に石灰乳などの攪拌溶液に加え中和させた後、多量の水で希釈して処理する（塩化水素及び硝酸の例）。
	正	◎徐々に石灰乳などの攪拌溶液に加え中和させた後、多量の水で希釈して処理する（塩化水素及び硫酸の例）。
380 ページ ▶沈殿法 解説	誤	解説：沈殿法では、金Ag、銀Ag、バリウムBa、錫Sn、銅Cu、亜鉛Zn、アンチモンSbなどの金属を含む化合物に適用される。ほとんどの金属は毒性が低い。また、弗化水素HF も対象となる。
	正	解説：沈殿法では、金Au、銀Ag、バリウムBa、錫Sn、銅Cu、亜鉛Zn、アンチモンSbなどの金属を含む化合物に適用される。ほとんどの金属は毒性が低い。また、弗化水素HF も対象となる。
387 ページ ◎黄燐 参考	誤	参考：黄燐を燃焼させると有毒な五酸化二燐 $\text{P}_2\text{O}_5 \cdot \text{P}_4\text{H}_{10}$ が白煙となって発生する。これを排ガス水洗設備で処理する。
	正	参考：黄燐を燃焼させると有毒な五酸化二燐 $\text{P}_2\text{O}_5 \cdot \text{P}_4\text{O}_{10}$ が白煙となって発生する。これを排ガス水洗設備で処理する。
456 ページ キーワードによる暗記一覧 [水で覆う] [水封後密栓]	誤	二硫化硫黄
	正	二硫化炭素